

## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月26日

上場取引所 大

上場会社名 タイヨーエレクトリック株式会社

コード番号 6429 URL <http://www.taiyoelec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 英理子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 渡邊 暢彦

TEL 052-502-9222

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	21,786	25.7	2,465	7.9	2,472	8.3	1,340	△36.3
22年3月期第3四半期	17,337	64.2	2,285	—	2,282	—	2,105	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	59.09	—
22年3月期第3四半期	92.82	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	28,570	15,882	55.6	700.23
22年3月期	22,814	14,895	65.3	656.69

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 15,882百万円 22年3月期 14,895百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				15.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,100	36.8	4,550	20.6	4,570	21.0	2,650	△27.2	116.83

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 22,833,748株 22年3月期 22,833,748株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 151,456株 22年3月期 151,414株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 22,682,311株 22年3月期3Q 22,682,334株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(第3四半期累計期間) .....	6
(第3四半期会計期間) .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、アジア向けを中心とした輸出の増加や各種経済対策の効果などにより一部に持ち直しの動きが見られたものの、急激な円高の進行に加え、エコカー補助金の終了などによる消費の反動減など国内景気は先行き不透明な状況となっております。また、依然として雇用情勢は厳しく、個人消費は低迷した状況が続いております。

遊技機業界におきましては、景気低迷が続く中、低貸玉営業の定着やパチスロ人気の持ち直しによりプレイヤー人口は回復基調にあるものの、10月上旬から11月中旬にかけてのAPECおよび関連会合の開催に伴う遊技機の入替自粛の影響などにより経営環境は厳しい状況が続いており、遊技機ホールは顧客獲得のため各メーカーが投入する数多くの新機種の中から話題性・ゲーム性が高く集客力の見込める遊技機をさらに選別しております。

このような状況のもと、当社は、コーポレートブランドの確立をコンセプトに、時代と情報を先取りしたゲーム性・ビジュアル性・サウンド性・オリジナル性および豊富な演出に重点をおき、クオリティの高い機種開発を行ってまいりました。

第3四半期におけるパチンコ機につきましては、「CRフルメタル・パニック! TSR」シリーズ(平成22年9月発売)の継続販売を行ったほか、第4四半期に発売を予定しております下期の有料タイトル「CRサムライチャンプルー2」の販売台数最大化に向け、各種販売戦略を実施しております。

パチスロ機につきましては、「リングにかけろ1～黄金の日本 Jr. 編～」(平成22年9月発売)を継続販売いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の販売台数は、パチンコ機 28,749台(前年同期比 25,262台 減)、パチスロ機 36,543台(前年同期比 32,466台 増)となり、売上高は、217億86百万円(前年同期比 44億49百万円 増)となりました。

また、利益面につきましては、遊技機の入替自粛の影響などにより、当第3四半期会計期間において新機種の投入がなかったため、第3四半期累計期間の営業利益は、24億65百万円(前年同期比 1億79百万円 増)、経常利益は、24億72百万円(前年同期比 1億89百万円 増)、四半期純利益は、13億40百万円(前年同期比 7億65百万円 減)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

#### (資産)

資産は285億70百万円(前期末比 57億55百万円 増)となりました。これは主に、現金及び預金38億1百万円、及び瀬戸工場の取得により有形固定資産21億48百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

#### (負債)

負債は126億87百万円(前期末比 47億67百万円 増)となりました。これは主に、仕入の増加に伴い支払手形及び買掛金が46億33百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

純資産は158億82百万円(前期末比 9億87百万円 増)となりました。これは主に、利益剰余金が10億0百万円増加したことによるものであります。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は68億41百万円であります。これは主に、税引前四半期純利益24億4百万円、及び仕入債務の増加額44億91百万円があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は25億90百万円であります。これは主に、有形固定資産の取得による支出25億20百万円、及びソフトウェアの取得による支出1億12百万円があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億94百万円あります。これは主に、配当金の支払額3億39百万円があったことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、145億0百万円(前期末比 38億56百万円 増)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期通期業績予想につきましては、平成22年10月27日に公表いたしました業績予想と変更ございません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 固定資産の減価償却費の算定方法

当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分しております。

② 棚卸資産の評価方法

当四半期会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前事業年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目を重要なものに限定しております。

なお、法人税等調整額につきましては法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,500,926	10,699,788
受取手形及び売掛金	3,961,915	4,621,903
有価証券	2,000,000	2,000,000
商品及び製品	—	28,186
仕掛品	4,234	4,467
原材料及び貯蔵品	1,490,618	1,148,446
未収消費税等	84,269	—
その他	458,250	515,603
貸倒引当金	△3,200	△3,200
流動資産合計	22,497,014	19,015,196
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,927,307	746,111
工具、器具及び備品(純額)	910,824	823,672
土地	1,255,563	883,965
その他(純額)	781,738	273,172
有形固定資産合計	4,875,434	2,726,922
無形固定資産	253,531	80,729
投資その他の資産		
その他	962,716	1,008,333
貸倒引当金	△18,625	△16,712
投資その他の資産合計	944,090	991,620
固定資産合計	6,073,056	3,799,272
資産合計	28,570,071	22,814,468
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,376,059	3,742,377
短期借入金	1,000,000	1,000,000
未払法人税等	683,023	595,313
未払消費税等	—	202,443
賞与引当金	118,203	172,981
役員賞与引当金	45,000	60,000
その他	1,358,113	1,016,424
流動負債合計	11,580,398	6,789,539
固定負債		
退職給付引当金	57,551	78,822
役員退職慰労引当金	840,966	802,104
その他	208,253	248,731
固定負債合計	1,106,771	1,129,658
負債合計	12,687,170	7,919,198

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,125,142	5,125,142
資本剰余金	5,161,314	5,161,314
利益剰余金	5,656,952	4,656,923
自己株式	△64,976	△64,955
株主資本合計	15,878,432	14,878,424
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,468	16,845
評価・換算差額等合計	4,468	16,845
純資産合計	15,882,901	14,895,269
負債純資産合計	28,570,071	22,814,468

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	17,337,159	21,786,284
売上原価	10,614,116	13,431,266
売上総利益	6,723,043	8,355,018
販売費及び一般管理費	4,437,770	5,889,824
営業利益	2,285,273	2,465,193
営業外収益		
受取利息	11,921	10,730
受取配当金	1,475	3,730
受取ロイヤリティー	—	7,325
その他	12,160	5,686
営業外収益合計	25,557	27,472
営業外費用		
支払利息	23,099	15,234
支払手数料	—	4,807
その他	4,942	50
営業外費用合計	28,041	20,091
経常利益	2,282,789	2,472,574
特別利益		
固定資産売却益	15	2,339
貸倒引当金戻入額	—	209
特別利益合計	15	2,548
特別損失		
固定資産除却損	20,442	62,524
投資有価証券評価損	36,630	6,900
ゴルフ会員権売却損	—	1,147
特別損失合計	57,072	70,572
税引前四半期純利益	2,225,731	2,404,550
法人税、住民税及び事業税	120,410	1,064,286
法人税等合計	120,410	1,064,286
四半期純利益	2,105,321	1,340,264



(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	1,990,808	706,509
売上原価	1,465,392	680,509
売上総利益	525,416	25,999
販売費及び一般管理費	1,265,438	1,797,448
営業損失(△)	△740,021	△1,771,448
営業外収益		
受取利息	4,530	2,863
受取配当金	343	939
受取ロイヤリティー	—	2,560
その他	3,410	620
営業外収益合計	8,284	6,983
営業外費用		
支払利息	7,455	4,860
支払手数料	—	1,301
その他	1,166	—
営業外費用合計	8,622	6,161
経常損失(△)	△740,358	△1,770,626
特別利益		
固定資産売却益	15	2,339
貸倒引当金戻入額	△625	209
特別利益合計	△609	2,548
特別損失		
固定資産除却損	14,243	42,748
投資有価証券評価損	△4,620	92
特別損失合計	9,623	42,840
税引前四半期純損失(△)	△750,591	△1,810,918
法人税、住民税及び事業税	△473,000	△662,662
法人税等合計	△473,000	△662,662
四半期純損失(△)	△277,591	△1,148,255

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	2,225,731	2,404,550
減価償却費	574,875	605,687
有形固定資産除却損	20,020	62,149
有形固定資産売却損益(△は益)	△15	△2,339
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,251	3,813
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,456	△54,778
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△15,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	33,067	△21,271
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	31,706	38,862
受取利息及び受取配当金	△13,397	△14,460
支払利息	23,099	15,234
投資有価証券評価損益(△は益)	36,630	6,900
売上債権の増減額(△は増加)	1,022,914	655,965
たな卸資産の増減額(△は増加)	997,041	△313,752
仕入債務の増減額(△は減少)	△119,163	4,491,271
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△84,269
未払消費税等の増減額(△は減少)	—	△202,443
その他	59,053	153,214
小計	4,879,857	7,729,333
利息及び配当金の受取額	11,411	14,002
利息の支払額	△22,538	△14,738
法人税等の支払額	△12,450	△887,067
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,856,280	6,841,529
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	15,000	55,000
有価証券の増減額(△は増加)	△2,000,000	—
有形固定資産の取得による支出	△691,607	△2,520,771
有形固定資産の売却による収入	20	4,000
ソフトウェアの取得による支出	△9,302	△112,466
その他	△46,377	△16,261
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,732,266	△2,590,500
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△63,527	△55,509
自己株式の取得による支出	—	△21
配当金の支払額	△112,732	△339,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,260	△394,892
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,947,752	3,856,137
現金及び現金同等物の期首残高	9,239,901	10,644,788
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,187,653	14,500,926

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。